

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 日 作成
 20年度決算把握後平成 21 年 6 月 日 作成

事務事業名		児童館運営事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	健康福祉部	課長名 青木洋治
	施策	18	子どもを見守り、育てる地域づくり	所属課	子育て支援課	担当者名 牧野淳一
	基本事業	59	地域における子育て支援	所属班	子ども保育班	(内線) 2158
				法令根拠	合志市児童館条例 合志市児童館条例施行規則	

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	8
	1	3	2	4	10588			コスト削減優先度評価結果	6

事業期間 単年度のみ 単年度繰返(開始年度 H16 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
 児童の健全な遊びの提供、集団的・個人的指導、児童館母親クラブ等の育成などの事業を実施
 児童館事業(行事、イベント等)を推進する
 市直営の児童館(2館)の事業を推進するため、児童厚生員を任用

【業務の流れ】
 直営児童館①日々の児童館の開・閉館、安全管理 ②来館児童や親子への健全な遊び場、交流機会の提供(親子教室、相談活動、自然体験活動、こどもまつりなどの行事開催)
 委託児童館①西児童館事業打合せ ②事業施行伺い ③事業委託契約伺い ④委託契約書締結 ⑤支出負担行為 ⑥実績報告書・請求書受付 審査 ⑦支出
 1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 児童館事業等により児童の健全育成、集団的指導等を行った。 母親クラブの地域活動の育成、支援を行った。	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 平成20年度と同じ
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) 館 → ア 委託児童館数
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 ・18歳未満の児童とその保護者 ・地域活動組織(母親クラブ等)	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) 人 → ア 18歳未満の児童数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・児童を健全に育成できる。 ・地域活動組織の育成ができる。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) 人 → ア 委託児童館への来館者人数
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 地域で子どもを見守っている。	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) 地域 → ア 地域のボランティア数 イ 子育て支援応援事業所数

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 0 0 0	
		都道府県支出金	千円	2,000	2,000	2,000	166	1,501	1,501		
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	一般財源	千円	1,000	1,000	1,000	2,649	751	751			
	(A) 事業費計	千円	3,000	3,000	3,000	2,815	2,252	2,252	0		
	うち指定経費	千円									
	うち時間外、特殊勤務手当	千円									
	人件費										
正規職員従事人数	人	3	3	3	4	3	3				
延べ業務時間	時間	245	245	245	95	245	245				
(B) 人件費計	千円	973	975	975	378	975	975	0			
トータルコスト(A)+(B)	千円	3,973	3,975	3,975	3,193	3,227	3,227	0			

活動指標	ア 館	1	1	1	1	1	1	3
対象指標	ア 人	10347	11106	10490	10821	10495	10500	3
成果指標	ア 人	3	3	3	19156	20000	20000	
上位成果指標	ア	107	180	120				

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
 児童館は、児童福祉法第40条に規定されている児童福祉施設の一つで、法律により自治体の義務事業とされ、S61.4.11に東児童館が開館し、続いてH9.12.11には泉ヶ丘市民センター児童館が、H14.6.31には西児童館が開館した。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 現在では、ますます子どもの遊べる場所や子どもを取り巻く環境の悪化により、国や県も児童館事業の更なる推進を図っている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 子育て支援の地域拠点、不登校児の居場所づくり、児童虐待の早期発見、地域異年齢・異世代古流の拠点など、児童館の役割の必要性がますます求められている。

事務事業名	児童館運営事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	---------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 意図「・児童を健全に育成できる・地域活動組織(母親クラブ)の育成ができる」ことにより、結果「地域における子育て支援」に結びつく
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 当該事業は、法律に規定された自治体の義務事業である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 国の規定する義務事業であるため、国にゆだねられる。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 一施設では規模的に来館者はほぼ頭打ちじょうたいであるが、施設を増やすことにより、向上の余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 子どもの居場所がなくなり、意図「・児童を健全に育成できる・地域活動組織(母親クラブ)の育成ができる」が達成されず、結果「地域における子育て支援」が困難となり、子どもの出生が減り市が衰退する。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 他に類似事業が無い。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 直営の児童館については、指定監理委託とすることで、児童厚生委員の人件費を削減できるほか県の補助対象となる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 直営の児童館については、指定監理委託とすることで、維持管理関係事務が減り延べ業務時間を削減することができる。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 誰にでも開かれた施設であり、公平性がある。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。 ②有効性については、…。 ③効率性については、…。 ④公平性については、…。 地域児童の居場所として、また、異年齢・世代間交流の場として、健全育成拠点としての児童館は児童福祉の向上を図る上で必要な事業で

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)…複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 児童館については、現在の水準を維持しつつ行事等の内容について見直しを行い効率を図る。 また、財政的な効率を図るため、指定管理制度の導入を目指す。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上	○																					
	維持																						
	低下																						

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
より開かれた児童館として、より多くの方に利用していただけるよう、小学校とより連携を図るとともに、市広報等での周知に努める。
また、児童館の活動もより魅力あるものにするよう児童厚生員への研修等の参加の機会を増やす。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	6	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	10	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)